

2017（平成29）年度

事業報告書

学校法人 大阪歯科大学

## はじめに

大阪歯科大学は、1911（明治44）年12月に近代的な歯科医学教育の普及を目指し、大阪府認可の「大阪歯科医学校」として設立された。

爾来、「博愛」と「公益」の建学の精神を柱に100年を超える学園の歩みの中で、歯科医学・医療の発展に寄与してきた。

本学は、2017（平成29）年度において、教育、研究、臨床の発展充実、経営の効率化を目指した各種事業を推進した。

歯学部における学生の受け入れについて、広範な入試広報活動の結果、入学志願者の大幅な増加と実質入試倍率の前年度比増を達成した。歯学部教育において、初年次教育の充実、オナーズ教育への注力、歯学系共用試験、臨床実習の成績の向上に向けて取り組み、前年度に引き続き「文部科学省私立大学等改革総合支援事業」に採択された。そして、教育のメルクマールである歯科医師国家試験については、新卒者合格率82.2%という好成績を収めることができた。また、歯科技工士・歯科衛生士国家試験においても好成績を収めた。

国際交流については、グローバル大学に相応しい教員・学生研修派遣を展開した結果、参加者にとって多くの学術研究上の知見を吸収することができた。

大学院歯学研究科においては、一般、社会人、外国人留学生の各区分で入学者を募集するとともに、大学院生の研究活動の活性化を図った。

附属病院においては、理事会傘下の病院組織改革委員会の検討を受け、医療の質の向上と経営効率化に向けて取り組んだ。

2017（平成29）年4月開設の4年制大学医療保健学部においては、学生の受け入れ活動を積極的に行い定員の充足を図った。同年8月には大学院医療保健学研究科（修士課程2年）が設置認可となり、2018（平成30）年4月開設に向けて学生の受け入れ活動を行った。

## 沿革

- 1911（明治44）年12月12日 大阪歯科医学校設立
- 1912（明治45）年 1月14日 大阪歯科医学校開校式  
（創立記念日）
- 1917（大正6年）年 9月 7日 財団法人大阪歯科医学専門学校設立  
9月25日 大阪歯科医学専門学校開校
- 1947（昭和22）年 6月18日 大学令に基づく旧制大阪歯科大学設立  
（大学昇格記念日）
- 1951（昭和26）年 3月 2日 私立学校法に基づく学校法人大阪歯科大学へ組織変更  
認可
- 1952（昭和27）年 2月20日 学校教育法に基づく新制大阪歯科大学設置認可
- 1961（昭和36）年 3月31日 大阪歯科大学大学院歯学研究科（博士課程）設置認可
- 1964（昭和39）年 4月17日 大阪歯科大学附属歯科技工士養成所  
（大阪歯科大学歯科技工士専門学校）開設
- 1968（昭和43）年 5月 1日 大阪歯科大学附属歯科衛生士学校  
（現・大阪歯科大学歯科衛生士専門学校）開設
- 1997（平成 9）年 4月 1日 楠葉学舎竣工、天満橋学舎附属病院竣工  
牧野学舎（体育・課外活動施設）と合わせて3学舎  
体制となる。
- 2011（平成23）年11月11日 創立100周年記念式典挙行
- 2016（平成28）年 8月31日 大阪歯科大学医療保健学部（口腔保健学科・口腔工学  
科）設置認可
- 2017（平成29）年 8月29日 大阪歯科大学大学院医療保健学研究科（修士課程）  
設置認可
- 2018（平成30）年 3月31日 大阪歯科大学歯科技工士専門学校廃止認可

学校法人大阪歯科大学組織図



## I. 大学全体での取り組み

大阪歯科大学は、教育基本法の規定する教育の一般的な目的と方針に則り、歯学に関する学術を中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の領野における学理技術を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、もって文化の創造と発展に貢献することを目的としている。この目的達成のため教育・研究・臨床の発展を図った。

## II. 教学（歯学部教育）の改革

歯学部においては、教学支援体制の充実を図り、建学の精神である「博愛」と「公益」に適う歯科医療人育成を目指し、様々な取り組みを行った。

### 1. 入学志願者増加への取り組み

アドミッション・ポリシーのもと、優秀な学生の確保に取り組んだ。

アドミッションセンターは、アドミッションセンター長（副学長・教務部長兼任）と専任職員（課長1名、主任1名、課員2名）で構成され、入試委員会による決定を受け、オープンキャンパス、高校訪問、高校生向け入試・入学説明会を積極的に展開した。

オープンキャンパスについては、楠葉学舎で7月1回、8月各2回（うち1回は天満橋学舎）、9月1回、合計4回行われ、延べ参加人数は477名であった。楠葉学舎でのプログラムは、入試概要説明、本学学生による講演、入試に向けてのポイント講座、体験実習、ミニ講義、キャンパスツアー、個別受験相談会を実施した。さらに、2015年度から始まった本学附属病院での入試説明会と院内見学は3年目を迎え、前年度を上回る87名の参加で好評であった。

4月から11月の期間には、17都府県（東京、千葉、埼玉、神奈川、愛知、福井、大阪、京都、和歌山、三重、兵庫、広島、岡山、高知、福岡、鹿児島、沖縄）の特設会場で高校生対象の進学相談会を行い、入試状況最新情報とキャンパスライフ、歯科医師の将来展望などの情報提供を行った。

入試科目については、推薦・一般入試において、英語の各種資格・検定試験（注）の結果に基づいて、一定の基準を満たしている場合は、「外国語（英語）」の受験免除制度を昨年度に引き続き実施した。

（注）受験免除基準検定試験 スコア・級

GTEC for STUDENTS 650 以上、GTEC CBT 1000 以上、TOEIC 550 以上 TOEFL(iBT) 55 以上 TOEFL(PBT) 484 以上 実用英語技能検定 2 級以上となっている。※取得時期は問わない。

センター試験オプション方式<プラス1>を新たに導入した。これは、本学一般試験の得点に、センター試験受験科目の6教科（外国語、数学①・②、国語、理科②、地理歴史、公民）より高得点1(2)科目の得点を合計し、可否を判定す

るものである。

また、入試の試験場は、一般入試（前期日程）において、東京会場（駿台予備学校お茶の水1号館）、名古屋会場（代々木ゼミナール名古屋校：新設）、広島会場（ワークピア広島）、福岡会場（代々木ゼミナール福岡校）を設置した。

入学試験成績優秀者特待生制度については、その充実を図り、優秀な学生の確保に努めた。一般入試及び大学入試センター試験利用入学試験においての措置で、概要は以下のとおりである。

- ・A種（初年度学納金（入学金を除く）免除：515万円、2年次以降は授業料全額免除：380万円×5年、対象人数1名、2年次以降は優秀な成績を維持することを条件）
- ・B種（初年度は学納金（入学金を除く）免除：515万円、対象人数25名（2年次以降は在学中の学業成績優秀者に対し年間授業料から100万円免除）

以上のような取り組みにより、2018年度入試の志願者は昨年度を上回り、募集人員に対する実質競争倍率は3倍を超え、2018年度新生128名を充足した。

2011（平成23）年度（2012年度入試）から実施され7回目となる編入学試験では、2名が第2学年へ編入となった。

## 2. インスティテューショナル・リサーチ（IR）室の活動

専任職員1名を配置して、教育、学生支援にかかわる情報の収集、分析、研究（教員業績を含む）にかかわるデータの収集、分析、データベースを利用したデータ収集及び検証並びにデータベースの整備、本学の計画策定、政策決定、意思決定業務等の支援等の活動を行った。

2017年度は、学生の生活実態調査や、授業への皆勤者調査、学業成績下位者に関するデータ集約、育み・寄り添い教育の該当者の授業出欠状況等、教務部委員会への検討資料として提示した。これらを受けて委員会では、全学生の生活実態を把握した上できめ細かな学修指導を計画し、実行した。

## 3. カリキュラムの展開について

歯学部では、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーを改正し、建学の精神の具現化に努めた。

態度教育科目の「コミュニケーションⅠ～Ⅳ」は、第1学年から第4学年まで横断的に開講した。

その中で、特に「ODUソーシャルコミュニティ」（1単位）は、態度教育科目の「コミュニケーション」の中で、第1学年から第4学年までの全学生が、学長及び教職員とともに枚方市の主催する環境美化活動であるアダプトプログ

ラムに登録し、朝8時から楠葉学舎周辺の歩道での清掃及び通行する地域住民の方々に挨拶を行った。学生の皆出席を義務づけ、欠席者には予備日に振り替えて実施し、参加態度はもちろんのこと、経済産業省・社会人基礎力診断から総合的に成績評価を行った。

従来からの第1学年次の人権論(1単位)、早期臨床体験学習(1.5単位)、社会福祉施設体験学習(2単位)は、引き続き学生の態度教育の柱として十分機能している。「現代教養」(3単位)では、マナー指導、学習態度の確立、プレゼンテーション能力などを通して、歯科医師として必要な素養と思考力、判断力、表現力など様々な状況に臨機応変に対応、解決できる能力を養うことを目的にしている。その中では、漢字検定準2級の第1学年全員受験や成績優秀者にTOEICの受験を実施した。

第2学年次では基礎系歯科医学教育を、第3学年では、情報科学教育、社会系歯科医学教育、臨床系歯科医学教育、総合医学系教育をしている。第3学年次の「ゼミナール」(2単位)、「研究チャレンジ」(2単位)は、演習科目として学生を研究室に配属して行うものである。特に「研究チャレンジ」は、研究マインドを学生に涵養することを目的にしており、リサーチリテラシーを涵養し、今年度もSCRIP(スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム)での成果発表を行った。

第4学年では、全国共用試験歯学系CBTについて、指導体制を強化し、試験成績の向上に努めた。特に成績下位者には合宿形式の重点的学習を行い弱点の補強を図った。

歯学部全学年に対してクリッカーを設置し、従来の知識伝達の学びから能動的学びアクティブラーニングを実施できる体制となった。

第5学年においては、臨床実習必携を整え学生に配付し、学修の徹底を図った。患者中心型診療システム(POS:Patient Oriented System)に基づいて検査、診断、治療計画にいたる情報収集と基本的歯科診療技術の訓練を行った。そして、臨床知識試験(年間5回実施)、臨床実習終了時試験を実施した。臨床実習の合格基準は、診療参加経験数、観察記録による評価、臨床実習終了時試験の合格、講義出席率80%以上である。また臨床知識試験の合格基準は平均得点率65%以上である。臨床実習の完了と臨床実習終了時試験、臨床知識試験の合格をもって歯科臨床教育の40単位を修得できる。これらはいずれも進級要件である。2017年12月20、21日の両日には、本学で臨床実習後能力試験トライアルが実施され、第5学年全員が対象の「臨床実地試験」と、選抜された20名が対象の「一斉技能試験」を受験した。

また、2017年度より、オナーズ教育として「大阪歯科大学教育改革事業」を開始した。この事業は、教育支援に関する内容を学内公募し、選考の結果採

採れば学長裁量経費（新設）をもって費用の全額を大学が負担するものである。今年度は、選考の結果「グローバル活躍プログラム」が採択された。このプログラムは、本学大学院へ進学を希望する意欲ある学生にオンライン英会話サービスを使い、外国人との「生きた英会話レッスン」を受講することにより、近年要求される英語での論文発表や、短期海外研修、SCRIPへのエントリーなどグローバルに活躍できる人材の育成を目指している。今回のプログラム費用は44万640円で、10名の学生が対象となった。なお、本プログラム受講者で、本学大学院入試を受験する者については、外国語（英語）の試験が免除となる。

第6学年は、昨年度と同様に学士試験と本学指定の模擬試験により、成績の向上に努め、きめ細かな指導を行った結果、第111回歯科医師国家試験の合格率は新卒者（82.2%）、既卒者（43.6%）となり、共に全国平均を超えた。

各学年について、教員が楠葉学舎及び天満橋学舎の研究室に在室し、学生の質問や相談に応じるオフィスアワーを設けた。

教務関連の機器備品の新規設置については、楠葉学舎コンピュータ実習室及びLL教室のパソコンの更新、天満橋学舎における第5学年使用のクリッカー設置、創立100周年記念館への無線LANシステム（Wi-Fi 設備）の導入を行った。

### 学生生活指導体制

各学年の指導教授、助言教員、特別アドバイザー、教育アドバイザー、大学院生のTAにより日々行われている。「学生カルテ」を活用するとともに、学生には「学習ポートフォリオ」の作成を通じて自己成長を確認させ、適切な助言を行った。

朝の挨拶運動は、2015年度から教授を含めた全ての教員が輪番制で、楠葉学舎正門前に立ち、登学する学生に対して行っており、今年度も人間関係の基本である挨拶の重要性を認識させるとともに、学生と教員の信頼関係の構築にも役立った。

学生部委員会では、『学生生活ハンドブック』を作成し、全学年に配付した。

2017年5月に「薬物乱用防止講演会」が、第1学年を対象に、大阪府警、枚方警察署から講師を招き開催された。

「学生相談室」は、楠葉学舎と天満橋学舎において、専門の臨床心理士（非常勤3名）を置き、毎週月・火・金に学生・教職員等の相談を行った。定期的に、学生部長、教務学生課長、臨床心理士及び看護師により、相談内容について共有を図り、解決に向けての協議を行った。



## 学生スポーツの振興

全日本歯科学学生総合体育大会は、国公立歯科大学・歯学部29校の体育系クラブが参加するスポーツの祭典である。この第49回大会（当番校：岡山大学歯学部）が8月1日から10日まで開催され、本学は総合で第4位であった。

## 【国際交流】

本学の今年度の国際交流は、交流協定提携校を中心に、下記の日程で実施された。

### ・海外協定校との交流

#### 受入

<2017年4月5日>

山西医科大学（教員6名 入学式出席、病院見学、学長懇談）

<2017年4月17日>

台北医学大学口腔医学院（教員4名 学長懇談）

<2017年4月24日>

山西口腔医学会（教員3名 楠葉学舎見学、病院見学、学長懇談）

<期間：2017年7月30日～8月5日>

上海交通大学口腔医学院（学生3名、引率教員1名）、南方医科大学口腔医学院（学生3名、引率教員1名）、四川大学华西口腔医学院（学生3名、引率教員1名）台北医学大学口腔医学院（学生4名、引率教員1名）、山西医科大学口腔医学院（学生5名、引率教員1名）が来学し、特別講義（英語での講義）、天満橋学舎附属病院、外部歯科診療所を見学した。

なお、期間中の8月4日には、The 1st Forum for International Students（FIS）が本学楠葉学舎において開催された。これは上記アジア5大学と本学歯学部学生、大学院生の研究発表を全て英語で行うフォーラムである。

<期間：2017年11月13日>

中国雲南省昆明の昆明医科大学代表団が、楠葉学舎において本学歯学部学生の講義を聴講、さらに図書館に保存している数々の貴重図書を見学された。引き続き、附属病院に各診療科を視察された。

<期間：2017年12月11日～15日>

シドニー大学歯学部から6名が、本学が楠葉学舎、天満橋学舎附属病院を訪問した。さらに本学教員による特別講義の他、本学OBの運営する歯科医院、歯科材料企業の見学が行われた。

## 派遣

<期間：2017年7月2日～14日>

四川大学華西口腔医学院

参加学生：第5学年3名 引率教員1名

<期間：2017年7月22日～28日>

上海交通大学口腔医学院

参加学生：第3学年5名、第4学年1名 引率教員1名

<期間：2017年7月22日～28日>

台北医学大学口腔医学院

参加学生：第1学年7名、第2学年1名 引率教員1名

<期間：2017年8月12日～21日>

シドニー大学歯学部

参加学生：第3学年5名、第4学年1名 引率教員1名

<期間：2018年3月10日～20日>

コロンビア大学歯学部

参加学生：第5学年6名 引率教員1名

## 【社会連携・社会貢献】

### ・枚方市との連携事業への参画

枚方市と枚方市所在の5大学との地域連携を図るため設置されている「学園都市ひらかた推進協議会」の第17回会合が、2017年6月2日に摂南大学において開催された。協議会では「中高生を対象とした大学体験事業」、「こども大学探検隊」、「ひらかた市民大学」などの生涯学習講座について、これらを実施していくことが確認された。

本学においては、下記の連携事業が開催され、地域に開かれた大学として市民に開放した。

[中高生を対象とした大学体験事業] (2017年8月20日)

楠葉学舎において、キャンパスツアーやミニ講義、体験実習などを行い、本学の魅力をアピールした。(受験生向けオープンキャンパス2017と併催)

[こども大学探検隊] (2017年10月28日)

楠葉学舎において、本学学生有志が運営スタッフとなり、大学生によるクイズと動物の歯型による歯の勉強を行った。(本学楠葉祭(文化祭)と同時開催)

[ひらかた市民大学] (2017年10月29日)

楠葉学舎大学院講義室において、本学教員が「歯周病と全身疾患の関係」について講演を行った。

さらに、枚方市が推進するもうひとつの連携事業である「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」については、今年度も本学公開講座を共催事業として開催した。本学附属病院医員による「健康医療キャラバン事業」に参画している(後掲)。

[枚方市への運営協力]

枚方市の審議会(環境審議会)、委員会(保健所運営委員会)等には、本学から教員を派遣、市の運営に協力している。

#### ・第25回大阪歯科大学公開講座

本学の恒例事業となっている公開講座を「お口は健康・長寿の入口」のメインテーマで、外部機関から1名(松尾浩一郎教授・藤田保健衛生大学医学部)、本学教員1名が講師を務め開催した。

天満橋(8月19日、26日)・楠葉両講座(2018年2月17日、24日)の延べ受講者は754名を得て好評であった。

また、今年度は、11月5日に本学が研究活動に注力しているゲノム研究に関して、臨床ゲノム医療学会、大阪府歯科医師会、大阪歯科大学同窓会の全面的な後援を得て、「あなたの病気のリスクをマーナ(mRNA)検査で早期発見!」と題して公開講座特別講座を開催し、教員、一般市民を含め258名の受講者数を得て好評であった。なお、1993年度第1回から今回までの延べ受講者数は、26,030名である。

#### ・朝日カルチャーセンターとの連携事業

朝日カルチャーセンターとの連携事業「大阪歯科大・朝日カルチャー デンタル塾」を、本学教員が講師となり開講した。期間は、2017年10月から2018年3月までの原則第4日曜日であり、会場は同センターの中之島及び樟葉教室で行われ受講者の好評を得た。

#### ・セレッソ大阪スポーツクラブとの連携研究協定締結

2016年2月に一般社団法人セレッソ大阪スポーツクラブ(代表理事・宮本 功氏)と連携研究協定を締結した。

協定の内容は、「スポーツと歯科医学の関係性を具体的なデータに基づき共同研究を推進し、口腔環境とフィジカルパフォーマンスとの関連を明らかにする」ことを目的にしており、2017年6月4日、セレッソ大阪アカデミー所属のU12とU13の選手約50名が歯科診断を受け、連携活動が始まった。今後、診断は継続して実施され、2107年は、185名が受診した。

### ・高大連携の取り組み

2016年9月に、大阪聖母女学院高等学校（現・香里ヌヴェール学院高等学校）と「教育の連携協力に関する協定」を締結した。

2017年6月30日に、同高校第1学年スーパーサイエンスコースの生徒23名を対象に、「人類を脅かす虫歯菌と歯周病菌」をテーマに出前講義を行った。7月7日、同高校の第1学年のスーパーサイエンスコースの生徒22名が楠葉学舎に来学、「虫歯菌と歯周病菌について」の実験に挑戦した。12月22日には、大阪府立槻の木高等学校の第1学年7名が、楠葉学舎に来学、歯科医療について理解を深めた。2018年2月21日、奈良市・帝塚山高等学校へ本学教員が出前講義を行った。このように本学では、高大連携の取り組みを積極的に進めた。

## Ⅲ. 大学院の改革

大阪歯科大学大学院歯学研究科は、大学院生に歯学に関する学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて文化の進展に寄与するとともに、大学院生を当該専攻分野に関する高度の研究指導者に養成することを目的としている。そして、入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）、教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を定めている。

### 1. 大学院生の入学者、外国人留学生の増加計画、資質向上への取組等

2018年度入試は、28名の入学者であった。このうち、外国人留学生入学者の8名をはじめ、2016年度から実施した社会人特別入試での入学者は5名であった。歯科基礎系専攻への志望者を確保する観点から、授業料の半額免除制度を継続し、この制度を利用して2名の基礎系志願者が入学した。

大学院生の海外での研究発表は、2017年度は1件あり、これに対して研修費として助成を行った。さらに大学院生の研究12件に対しても学術研究奨励助成金として総額で200万円の助成を行った。また、今年度は大学院特別講義を2回開講し、大学院生の資質向上を図った。

### 2. 大阪歯科大学学術リポジトリの開設と教育研究業績の公開について

文部科学省が推進する学術情報の公開については、学術リポジトリにより、学位論文内容要旨及び審査結果の要旨は学位授与後3ヶ月以内に、また、学位論文全文は、学位授与後1年以内に掲載した。

また、『大阪歯科大学教育研究論文目録』を刊行し、関係機関や国立国会図書館などの公的機関に配付するとともに、本学ホームページ（大学トップ>大学について>研究室紹介）に掲載した。

### 3. 研究不正行為防止、公的研究費の管理及び知的財産について

文部科学省の「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン（平成26年8月26日文部科学大臣決定）」に基づき、学内規程は、「大阪歯科大学における研究活動上の不正行為の防止及び対応に関する規程」「大阪歯科大学における研究データ等の保管等に関する申し合わせ」を運用し、その徹底を図った。研究倫理教育として、「研究倫理講習会」を2017年9月14日開催した。また、大学院生には第1学年を対象に「研究倫理」の講義3コマ（1コマ90分）を行った。

公的研究費の管理については、文部科学省の「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」に基づき、毎年度チェックリストを主任教授会、監事の確認後に同省へ提出している。

医の倫理委員会関係では、「人を対象とする医学系研究に関する講習会」を同年9月13日に開催した。

知的財産に関しては、2017年度は、発明届受付1件、審査請求1件、特許登録2件であった。

### 4. ティーチング・アシスタント、ポスト・ドクトラルフェロー採用について

ティーチング・アシスタントは、学部学生に対する教育補助として18名を、また、ポスト・ドクトラルフェローは、1名を採用した。

## IV. 附置施設の活動

### 【図書館】

本学図書館は、楠葉学舎に本館、天満橋学舎、牧野学舎に分室を置き、利用サービスの充実を図った。教育研究活動及び学生の自学自習のために必要な図書、学術雑誌、電子媒体を備えた。なお、牧野分室は、2017年4月20日から開館した。

・蔵書冊数	181,984冊（前年度比 1.2%増）
・受入資料冊数	2,863冊（前年度比97.2%増）
・電子ジャーナル	5,163冊（前年度比 6.2%増）

試験期等の期間を定めての休日特別開館、情報提供サービス（医学中央雑誌 Web版、電子ジャーナル等）は継続実施した。設備として、ブラウジングコーナーに歯学部第65回卒業生から、ラーニングcommonsのため机、椅子、ホワイトボード、ブックトラックの寄贈を受けた。

楠葉学舎本館においてiPad3台の貸し出しや、牧野学舎分室において開館情報や各種お知らせを「A-portal」に掲載を開始した。

### 【中央歯学研究所】

口腔科学分野に必要な10の実験施設と中央材料室があり、単独の講座・教室で維持することがむずかしい実験機器を多数設置し、本学の研究の中核施設としての役割を担っている。教育研究用機器備品の整備（ゼータ電位・粒径・分子量測定システム ELSZ-2000、大気圧ダメージフリープラズマ PCT-DFMJ01、オスミウムコーターHPC-20型）、『中央歯学研究所報第9号』を刊行し、学内配付とともに国立国会図書館に送付した。中央歯学研究所講演会を、11月15日、2月28日、3月14日の合計3回開催した。

### 【教育情報センター】

本学全体におけるネットワーク機器更新・交換、ソフトウェアのバージョンアップ、既存インフラの維持及び運営管理に努めた。

マイクロソフト包括ライセンス契約の継続締結、ODUnetの運用・管理業務、コンピュータ・ウイルスへの対策を講じる等、同センター管理運営委員会が迅速に取り組んだ。機器備品としては、楠葉学舎1号館、2号館、のディストリビューションスイッチの更新を行った。

## V. 教員人材の整備

### 1. 教員の資質向上への取組み

教員の資質向上への取組みとしてのファカルティディベロップメント（FD）セミナーについては、下記の内容で外部講師を招聘するなどし、合計8回開催した。

#### 【2017年度FDセミナー開催状況】

##### 第1回 4月21日（金）

演題：歯学系CBT問題公募要領と問題作成のポイント

講師：本学教員3名（本学・田中昭男歯学部長、西川泰央教授、前田博史教授）

出席者数：140名

##### 第2回 5月8日（月）

演題：社会が求める医療人養成への兵庫医大の取組

講師：鈴木敬一郎教授（兵庫医科大学）

出席者数：175名

##### 第3回 7月4日（火）

演題：本学における医学教育センターの活動

講師：成瀬均教授（兵庫医科大学）

出席者数：165名

#### 第4回 7月27日(木) (SD合同開催)

演題：情報セキュリティおよび個人情報保護について

- 身近に潜む情報漏洩の危険 -

講師：木村克紀氏 ((株) エデュース)

出席者数：206名

#### 第5回 11月17日(金)

演題：多職種連携教育の意義と実践について

講師：片岡竜太教授 (昭和大学歯学部)

出席者数：173名

#### 第6回 11月24日(金)

演題：臨床医学教育の改革と歯学系臨床能力試験トライアル

講師：本学・山本一世教授

出席者数：153名

#### 第7回 12月1日(金)

演題：大学に求められる障害のある学生への支援

講師：村田 淳准教授 (京都大学)

出席者数：170名

#### 第8回 2018年2月7日(水)

演題：兵庫医大の国家試験対策

講師：鈴木敬一郎教授 (兵庫医科大学)

出席者数：165名

## 2. 教員任用関係諸規程の改正

教員の研究業績向上を図るため「教員候補者資格審査に関する申し合わせ(2017年4月27日付改正)」、「任期制教員の再任用基準に関する申し合わせ(2019年4月1日以降適用)」、「教員の兼務、出張及び研修に関する内規(2017年5月25日付改正)」をそれぞれ改正した。

## VI. 外部資金の獲得状況による教育研究の進展

平成30年度文部科学省科学研究費助成事業への申請及び採択件数の増加のための説明会を9月28日、9月29日の2回開催した。

平成29年度の科学研究費を含む外部資金の獲得状況は以下のとおりであった。

- 平成29年度科学研究費補助金（新規＋継続）
- |            |                    |
|------------|--------------------|
| 基盤研究（B）    | 2件                 |
| 基盤研究（C）    | 35件                |
| 挑戦的萌芽研究    | 2件                 |
| 若手研究（B）    | 20件                |
| 研究活動スタート支援 | 4件                 |
| 合計         | 63件                |
| 補助金交付額     | 7460万円（間接経費2238万円） |
|            | 合計 9698万円          |
- 平成29年度私立大学等経常費補助金（一般補助＋特別補助＊）  
（日本私立学校振興・共済事業団）  
3億7558万5000円  
（内、1820万5千円は、私立大学等改革総合支援事業）
- \*特別補助の内訳**
- ・大学等の国際交流の基盤整備  
（海外からの学生の受入れ、学生の海外派遣、教員の海外派遣、大学等の教育研究環境の国際化）
  - ・大学院等の機能の高度化（大学院における研究の充実（女性研究者支援）、研究施設運営支援（中央歯学研究所））
  - ・授業料減免及び学生の経済的支援体制の充実（卓越した学生に対する授業料減免等（本学特待生制度））
  - ・私立大学等改革総合支援事業（タイプ1 教育の質的転換）
- 平成29年度学術研究振興資金  
（日本私立学校振興・共済事業団） 70万円
- 難治性疾患実用化研究事業（分担）1件（継続）  
（国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED））  
442万円（間接経費 44万2千円）  
合計 486万2千円
- 労災疾病臨床研究補助金事業（分担）1件（継続）  
（厚生労働省） 50万円
- 平成29年度日本・アジア青少年サイエンス交流事業実施補助金  
（国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）） 166万734円

## **Ⅶ. 附属病院の取り組み**

本学附属病院では、患者の方々への診療を通じて歯科医学の教育研究を達成するとともに、地域社会に貢献することを目的としている。その達成のために、「病院理念」においては、「患者さんの病に共感し、あたたかい医療を提供する」ことを理念とし、安全・安心な医療に努めること、良質で高度な先進的医療の提供、人権を尊重し、公正な医療を行うこと、人間性豊かな、優れた医療



人の育成を基本方針としている。

2017年度も引き続き、地域歯科医療の中核として、地域住民の方々に高度な歯科医療を提供するとともに、学生教育（臨床実習）、研修歯科医師の研修の場として、歯科大学附属病院に与えられた使命を果たす取り組みを行った。

医療機器の更新等については、今年度はX線一般撮影システム、人工透析用水処理装置、傾斜型安全キャビネットの設置を実施した。

天満橋学舎附属病院の建物（設備も含む）については、南館が1960年、西館が1978年、本館が1997年の建設であり、建物の補修、設備の取替を計画的に実施した。

### 1. 附属病院組織改革委員会の取り組み

2016年4月から、理事会のもとに、法人関係委員会である附属病院組織改革委員会（以下「改革委員会」）を設置し、患者数増加を第一の目標として取り組みを行った。

改革委員会では、検討資料として毎月の来院患者数目標達成状況を確認するとともに、附属病院全診療科長（臨床系講座主任教授、診療科責任者）が出席する病院運営委員会において、上記資料をフィードバックすることにより、診療科主体の経営改善の重要な資料とした。

さらに改革委員会では、

- (1) 全診療科の土曜開院
- (2) 附属病院の診療室再編成（本館・南館2階の診療室の再編）
- (3) 医科歯科連携の推進
- (4) 歯科救急外来の設置
- (5) スペシャルニーズ部門の新設
- (6) 病院事務管理体制の見直し

などの提案がなされ、次年度に向けて鋭意実施に向け取り組んでいくこととなった。

また、附属病院で診療に携わる医員として、「診療系教員」を置くことを決定し、所属については臨床系講座であり、研究歴、科学研究費申請などの処遇については別途規程を定めた。

### 2. 診療科について

2017年度から新たな診療科として口腔リハビリテーション科を開設した。

また、総合診療・診断科を分割し、南館2階診療室を総合診療科、本館2階診療室を口腔診断科とした。

### 3. 2017年度患者数・医療収入等

2017年度の外来患者数については、25万9037人であり、一日平

均1054.3人であった（開院日数242日、土曜日49日）。なお土曜日診療は初診・再診を合わせ6,571人、一日平均134.1人であった。同じく、医療収入については、19億8474万円であった。

#### 4. 歯科医師の派遣、訪問歯科診療

沖縄県、社会福祉法人阪神福祉事業団センター診療所、日本放送協会（大阪放送局）、大阪府済生会泉尾病院へ医員派遣を行った他、訪問歯科診療としては、国家公務員共済組合大手前病院、関西電力病院において実施している。また、関西医科大学天満橋総合クリニックからMRIの特殊検査依頼を受け付けている。

#### 5. 歯科医師臨床研修

2017年度の修了者は97名で、前年度より9名減であり、研修歯科医受入施設数は47施設であった。臨床研修費等補助金は、7247万7千円であった。

下表は、2013年度から2017年度の本学の研修歯科医受入人数の推移である。本学附属病院の受入定員は160名であるため、人件費、労力軽減を考慮し、2018年度は定員削減について検討する余地があると思われる。

本学研修歯科医受入人数の推移 (人)

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
単独型	32	22	18	22	16
複合型	84	68	70	84	81
合計	116	90	88	106	97

#### 6. 附属病院健康セミナーの開催

患者数増加施策の一環として、2017年8月から月1回、本学教員を講師として一般の方々を対象に、歯とお口の健康、さらに全身の健康について、わかりやすく講演する「大阪歯科大学附属病院 健康セミナー」を開始した。

この事業は次年度も継続することとなっている。開催日とテーマは以下のとおりである。

<2017年>

- 8月19日（土）第1回 「こどものときからの口腔管理～小児歯科と矯正歯科との連携の必要性～」
- 9月22日（金）第2回 「口腔リハビリテーションの重要性」
- 10月20日（金）第3回 「睡眠歯科外来 - 睡眠時無呼吸症に対する歯科の取り組み - 」

- 1 1月18日（土）第4回 「子どもの受け口」
- 1 2月22日（金）第5回 「インプラントと上手なお付き合い」

< 2018年 >

- 1月19日（金）第6回 「歯科金属アレルギーのお話  
- 口の中の金属 -」
- 2月 2日（金）第7回 「歯周病を治すためには！」
- 3月 2日（金）第8回 「口腔癌の早期発見を目指して」

## 7. 病診連携講演会・懇談会

例年行われている病診連携講演会・懇談会は、2017年度で15回目を迎え、2018年2月24日（土）に開催された。講演テーマは「難治性根尖性歯周炎の診断と治療」であった。

本院へは、毎年約2,500の医療機関から患者紹介があり、今年度紹介された新患者数は1万702人であった。

## 8. 地域医療連携

- ・2017年度も引き続きCT、MRI、コーンビームCT及び病理組織検査を地域の歯科診療所の先生方に利用していただき、地域歯科医療を支援してきた。
- ・「大手前病院・大阪歯科大学附属病院協力医療機関定例連絡協議会」を3ヶ月に1回開催し、医療連携の維持強化に努めている。
- ・施設基準「感染防止対策加算1」を届出ている大手前病院と連携し、施設基準「感染防止対策加算2」を届出ている。同じ施設基準で大手前病院と連携しているコープ大阪病院と共に、施設基準の要件の1つである年4回の合同カンファレンスを開催するなど、連携して院内感染防止の向上に努めている。
- ・枚方市との連携事業である「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」については、「健康医療キャラバン事業」として、8月23日に附属病院総合診療科医員が、大阪府立むらの高等支援学校で、さらに11月9日、16日の両日に枚方市立杉中学校で「歯磨き・口腔ケアに関する講座」を行った。

## 9. 院内感染対策講習会、医療安全講習会、医療機器安全管理講習会等の開催

2017年度は下記の日程で開催され、多数の教職員が受講した。

- ・院内感染対策講習会  
4月24日「針刺し切創対策について」

- 6月 6日「Clean Hands Safe Hands ～手指衛生がきつとできるようになる秘訣～」
- 6月23日「標準予防策（Standard Precaution）の重要性～当院における手指衛生徹底への取り組み～」 他7回開催
- ・医療安全講習会
- 6月22日「反社会的勢力、クレーマー対応」 他7回開催
- その他、医薬品安全管理講習会（4回）、医療機器安全管理講習会（9回）を開催した。

#### 10. 歯学部附属病院医療事故防止のための相互チェック

2017年12月18日に東京医科歯科大学歯学部附属病院（実施責任校）、日本歯科大学附属病院による相互チェックを受け、特段の指摘もなく終了した。

一方、本学の担当者は、2017年12月22日には日本歯科大学附属病院、12月26日には鹿児島大学病院をそれぞれ訪問し、チェックを行った。

#### 11. エコロジーガーデンの導入

2017年4月8日から、地球環境保全と患者様のアメニティの向上のために、企業の協賛を得て院内緑化エコロジーガーデンを導入した。“エコロジーガーデン”はCO<sub>2</sub>（二酸化炭素）やVOC（揮発性有機化合物）の吸収に優れ、臭気の除去能力が高く、また、マイナスイオン発生能力にも優れた観葉植物（エコ・プラント）と、活性炭や石灰岩を特殊加工した土壌（エコ土）を用いた室内緑化である。本事業は、次年度以降も継続することとしている。

### **Ⅷ. 医療保健学部の展開**

#### 1. 設置の経緯・趣旨

大阪歯科大学医療保健学部口腔保健学科・口腔工学科は、超高齢社会が必要とする優れた歯科医療人を養成し、口腔の健康を通じて国民が健康で安心して暮らせる社会づくりに貢献することを設置の趣旨とし、アドミッション・ポリシーを策定した。

医療保健学部が求める学生は、「思いやりの心を持ち、人と温かく接して協調性とコミュニケーション能力に優れ、医療と福祉に高い関心と学習意欲を持ち、社会に貢献できる医療人となるための絶え間ない学習と努力ができる者」とする。各学科においてのアドミッション・ポリシーは以下の通りである。

##### **【口腔保健学科】**

口腔の健康に寄与するためには、自己管理ができることが必要である。また、多職種連携のためには協調性が重要である。さらに、歯科医療の発展のために独創性がある発想を持つことが必要であり、口腔保健学科として次のような学生を求める。

- ・ 口腔保健学を学ぶに当たり、十分な基礎学力を有する者  
特に「英語」、「数学」、「国語」及び「生物」について高等学校までに履修した、教科書レベルの基礎的な知識を有する者
- ・ 既存の概念にとらわれず、知識や技術への旺盛な探究心を持ち、向上に取り組む志を持つ者
- ・ 他者の話を聞き、協調して問題に取り組める者
- ・ 自己の健康管理ができる者
- ・ 人の健康の維持と増進に貢献する意欲がある者
- ・ 口腔の衛生管理に強い関心がある者

#### 【口腔工学科】

口腔の健康に寄与するためには、自己管理ができることが必要である。また、多職種連携のためには協調性が重要である。さらに、口腔装置の製作技術に優れ発展させるためには科学技術への関心と開発への興味が必要であり、口腔工学科として次のような学生を求める。

- ・ 口腔工学を学ぶに当たり、十分な基礎学力を有する者
- ・ 特に「外国語(英語)」、「数学」、「国語」、「生物」、「物理」及び「化学」について高等学校までに履修した、教科書レベルの基礎的な知識を有する者
- ・ 既存の概念にとらわれず、知識や技術への旺盛な探究心を持ち、向上に取り組む志を持つ者
- ・ 科学技術に関心がある者
- ・ 他者の話を聞き、協調して問題に取り組める者
- ・ 自己の健康管理ができる者
- ・ 人の健康の維持と増進に貢献する意欲がある者

## 2. 学生の受け入れ

上記のアドミッション・ポリシーに基づいて、2017年度のオープンキャンパスを実施した。

#### 【2017年】

第1回	4月 2日 (日)	楠葉学舎	53名
第2回	5月14日 (日)	牧野学舎	64名
第3回	6月18日 (日)	牧野学舎	65名
第4回	7月23日 (日)	牧野学舎	136名 (入試対策講座開催)
第5回	8月15日 (火)	天満橋学舎	89名 (附属病院見学)
第6回	9月18日 (月)	牧野学舎	71名 (入試対策講座開催)
第7回	10月 9日 (月)	牧野学舎	36名
第8回	12月10日 (日)	牧野学舎	36名

#### 【2018年】

第9回	3月18日 (日)	牧野学舎	91名
-----	-----------	------	-----

以上9回開催し、参加延べ人数は、高校生・保護者を含め延べ641名で

あった。

その他、高校訪問、近畿・中四国を中心に27会場での進学説明会、大阪府・兵庫県を中心に高等学校60校の校内進学ガイダンスに参加した。

高等学校の進路指導教諭への入試説明会を開催し、京阪電車内のポスター広告を実施した。さらに受験情報検索サイトへの入試情報の掲載、広報チラシの近畿圏の1000校を超える高等学校、大阪府歯科医師会、本学歯科技工士専門学校同窓会会員等への送付など積極的に広報活動を展開した。

そして、2018年度医療保健学部入学試験は、推薦入試、一般入試（前期・後期）、大学センター試験利用入試、推薦入試、特別入試の区分で実施された。その結果、志願者は、口腔保健学科で106名、口腔工学科で25名であり、うち入学者は、口腔保健学科77名、口腔工学科17名であった。

### 3. 学修への取り組み

医療保健学部では、前記のアドミッション・ポリシーの他、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーを定め、様々な課題解決のため精力的に取り組んだ。

基礎科目として、「キャリア教育」「教養教育」「情報教育」「語学教育」専門基礎科目として、「基礎系口腔科学」「社会系口腔科学」専門科目として「臨床系専門科目」「総合医学教育」「臨床教育」「総括教育」の125単位が4年間の要卒単位数である。

歯学部と同様に、ODUソーシャルコミュニティを開設しており、第1学年次学生と教職員が牧野駅周辺の清掃活動及び地域住民の方々へ朝の挨拶を行った。また、本学附属病院での早期臨床体験学習は、卒業後の歯科技工士、歯科衛生士としての役割の一つである多職種連携へのモチベーションを高めるために大いに役立った。

医療保健学部のもう一つの特色である社会福祉士コースは、第1学年次の希望者が受講し、国家試験受験資格を得るため学修に励んでいるところである。

全学生へのタブレットPCの貸与を生かし、学修支援ポータルサイト「A-portal」による最新の授業時間割、試験関係のお知らせの配信、授業用SNS「melly」を使ったタイムラインによる科目担当教員からの注意事項や、学生からの質問受付、課題提出が容易に行えるシステムを計画した。

学生生活の指導体制として学科・学年別に「指導教授」と「助言教員」が置かれ、学生の学習状況に応じたアドバイスや指導を行った。また、学生支援室を置き、学業だけでなく生活面、健康面など学生生活全般にわたったきめ細かな支援を行った。

オフィスアワーを設けて、学生からの授業に関する質問を受付ける体制を整備した。また、学生が快適に学習できるように、学生ホール、コンピュータ演習室、図書館牧野分室に自習スペースを設けた。

就職、進学に関する支援を行うキャリアセンターを設置し、専任教職員が対応できる体制を整えた。

#### 4. 大学院医療保健学研究科の設置について

医療保健学部を基礎とする大学院医療保健学研究科（修士課程：2年）が2017年8月に設置認可となった。

同研究科は、高度な専門的知識と技能を持つとともに歯科医療の変革に応じられる歯科医療人、並びに歯科衛生士や歯科技工士の専門性を生かした研究を通じて歯科医療の発展に貢献できる人材を養成して歯科医療の発展と人々の健康の増進に寄与することを目的としている。

2017年9月17日、10月9日の両日には、同研究科説明会を牧野学舎にて開催した。2018年度入試は、一般一次を12月に、同二次を2018年1月に、同三次を3月に実施し、定員10名を超える14名の大学院1期生を確保した。

#### IX. 歯科技工士専門学校、歯科衛生士専門学校

歯科技工士専門学校は、特色ある歯科医療専門職教育を行い、2017年度国家試験の合格率は90%であった。また今期の歯科技工士学科及び専攻科の卒業生の就職状況は、希望者全員が歯科医院、歯科技工所への就職が決まった。また1名の進学者もあった。

同校の沿革を簡単に示すと、1964年4月大阪歯科大学附属歯科技工士養成所として開設され、その後、1967年3月同大学附属歯科技工士学校、ついで1976年4月大阪歯科大学歯科技工士専門学校に改称となり、特色あるカリキュラムにより優秀な医療人の育成を続けた。2017年4月医療保健学部口腔工学科への改組転換により、2018年3月31日をもってその54年の歴史に幕を閉じた。

歯科衛生士専門学校は、特色ある歯科医療専門職教育を行い、2017年度国家試験の合格率は100%であった。今期の求人数は945件であり、卒業生は、全員が歯科医院、本学附属病院、総合病院、歯科関係企業への就職が決った。

#### X. 法人・大学の管理運営

本学は、前年度に引き続き、限られた収入の中から教育・研究・診療の各活動の活性化に努めるとともに、人材育成、施設設備の整備、業務改善を進めた。

・医療保健学部の設置認可に伴い、基本規程である寄附行為、大学学則、大学院学則の改正、各種委員会規程の施行と改正、事務組織の改正（医療保健学部事務室の設置）を行った。

・大学ホームページを充実させ、本学の特色について広報活動を活発に行った。大学公式フェイスブック及びLINE@を更新し、ステークホルダーの

ニーズを的確に把握するように努めている。

- ・環境省が推進しているスーパークールビズ、ウォームビズを本学理事会決定で実施し、夏季及び冬季の省エネルギー意識の高揚に努めた。

- ・2017年度より楠葉学舎での諸会議のペーパーレス化を行う契機として、i p a d ペーパーレス会議システムを導入した。

- ・人材育成について、職員のSDが大学設置基準で義務化されたことを受けて「大阪歯科大学SD実施方針」を定め、2017年には、「情報セキュリティおよび個人情報保護」(FDセミナーと合同開催)「学校の役割と高等教育業界の現状と今後」「大学職員の役割」のSDを行った。そして年度の締めくくりにSDとして「事務職員意見交換会」により各部署の業務の現状と課題等をグループ討議により深めた。

- ・教職員に対する人権意識向上の一環としての「人権講演会」は、本学人権教育室教員により「大学教育における障害学生の支援の動向」と題して開催し、多数の教職員の出席を得た。



[附属資料]

1. 2017年度学生数(2017年5月1日現在) ( )は女子

歯学部	第1学年	131	(67)	大学院	第1学年	35	(12)
	第2学年	137	(61)		第2学年	30	(6)
	第3学年	137	(60)		第3学年	23	(6)
	第4学年	143	(70)		第4学年	17	(4)
	第5学年	148	(51)			105	(28)
	第6学年	134	(62)				
		<u>830</u>				<u>(371)</u>	

医療保健学部 第1学年 口腔保健学科 48 (48) 口腔工学科 10 (2)

歯科技工士専門学校 2年 10 (4) 専攻科2年 1 (0)

歯科衛生士専門学校 2年 42 (42)  
3年 43 (43)  
85 (85)

2. 第111回歯科医師国家試験の結果 2018年3月19日合格発表

	(総数)			(新卒)			(既卒)		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)
本学	184	115	62.5	90	74	82.2	94	41	43.6
全国	3,159	2,039	64.5	1,932	1,505	77.9	1,227	534	43.5

3. 2018年度入学試験状況

学部・研究科	選抜区分	志願者数	合格者数	入学者数
歯学部	推薦	66	44	128
	一般前期	304	60	
	一般後期	102	6	
	センター前期	104	3	
	センター後期	23	3	
	プラス1前期	86	7	
	プラス1後期	20	2	
	外国人留学生	3	3	
	編入前期	3	2	
	編入後期	3	0	

学部・研究科	選抜区分	志願者数	合格者数	入学者数		
医療保健学部	口腔保健学科	推薦A	38	38	77	
		推薦B	8	6		
		推薦	20	20		
		一般前期	19	14		
		一般後期	8	6		
		センター前期	8	7		
		センター後期	3	3		
		社会人特別	0	0		
		帰国生特別	0	0		
		外国人特別	2	2		
		推薦A	6	6		
		推薦B	1	1		
		推薦	3	3		
口腔工学科	一般前期	7	4	17		
	一般後期	3	3			
	センター前期	3	3			
	センター後期	0	0			
	社会人特別	0	0			
	帰国生特別	0	0			
	外国人特別	2	2			
	歯学研究科	一般一次	5		4	28
		一般二次	13		9	
		一般三次	3		3	
社会人特別一次		3	3			
社会人特別二次		2	2			
外国人留学生特別選抜		8	8			
医療保健学研究科		一般一次	5	4	14	
	一般二次	7	7			
	一般三次	3	3			

4. 医療保健学部開設 2017年4月1日

5. 2016年度会計実査 2017年4月4日(火)

6. 大学歯学部・大学院入学式 2017年4月5日(水)午前10時(於:楠葉学舎)

7. 大学医療保健学部入学式 2017年4月11日(火) 午前10時(於:楠葉学舎)
8. 新入生研修
  - ・歯学部 2017年4月5日、6日、7日(於:楠葉学舎)
  - ・医療保健学部 2017年4月12日(水) 午前9時(於:牧野学舎)
9. 2017年度FDセミナー(本文参照)
10. 歯学部第1学年薬物乱用防止講演会  
2017年5月10日(水) 午前9時(於:楠葉学舎)
11. 2016年度監事監査 2017年5月15日、16日(於:楠葉学舎)
12. 解剖体慰霊祭 2017年5月26日(金) 午後1時(於:四天王寺)
13. 歯学部父兄会・共済会総会(於:楠葉学舎)  
2017年6月24日(土) 午後1時 父兄出席者数279名
14. オープンキャンパス
  - 1) 歯学部オープンキャンパス(於:楠葉学舎, 第2回のみ天満橋学舎)
    - ・第1回 2017年7月17日(月) 158名参加(うち, 学生75名)
    - ・第2回 2017年8月10日(木) 87名参加(うち, 学生48名)
    - ・第3回 2017年8月20日(日) 103名参加(うち, 学生66名)
    - ・第4回 2017年9月18日(月) 129名参加(うち, 学生64名)
  - 2) 医療保健学部オープンキャンパス(本文参照)
15. 第49回全日本歯科学学生総合体育大会(当番校:愛知学院大学歯学部)  
2017年8月1日(火)~8月10日(木) 本学は総合第4位
16. 2017年度人権講演会  
2017年8月30日(於:100周年記念館)  
テーマ「大学教育における障害学生支援の動向」講師:人権教育室 李 嘉永講師
17. 第25回公開講座(本文参照)
18. 第6学年父兄会 2017年10月1日(日) 午後2時(於:100周年記念館)

19. 2017 年度地方父兄会（山陽地区：岡山県、広島県、山口県）  
2017 年 10 月 8 日（日） 保護者 15 名出席（於：広島ガーデンパレス）
20. 解剖体遺骨返還式 2017 年 10 月 16 日（火）午後 2 時（於：楠葉学舎）
21. 2017 年度大学祭（テーマ：power of smile）
  - ・体育祭 2017 年 10 月 21 日（土）（於：牧野学舎）
  - ・文化祭 2017 年 10 月 28 日（土）、29 日（日）（於：楠葉学舎）
22. 実験動物慰霊祭 2017 年 11 月 17 日（金）12 時 35 分（於：楠葉学舎講堂）
23. 2017 年度防災・防火訓練  
楠葉学舎 2017 年 12 月 11 日（月）  
牧野学舎 2017 年 12 月 1 日（金）  
天満橋学舎 2017 年 12 月 15 日（金）
24. 平成 29 年度臨床能力試験トライアル
  - ・一斉技能試験 2017 年 12 月 20 日
  - ・臨床実地試験 2017 年 12 月 21 日（医療系大学間共用試験実施評価機構視察者等来学）
25. 2017 年全学教職員忘年慰労会 2017 年 12 月 28 日（於：天満橋学舎）
26. 2018 年新年互礼会 2018 年 1 月 5 日（於：楠葉学舎）
27. 教授退職記念講演会（於：100 周年記念館）  
2018 年 2 月 25 日（日）（於：100 周年記念館）  
大浦清主任教授（13：10～），西川泰央主任教授（13：55～）  
森田章介主任教授（14：40～），大久保直主任教授（15：25～）
28. 2017 年度共用試験歯学系 CBT 並びに OSCE
  - ・CBT 2018 年 2 月 27 日（火）午前 9 時 30 分（於：楠葉学舎）
  - ・OSCE 2018 年 3 月 18 日（日）午前 9 時（於：天満橋学舎）
29. 2017 年度卒業式並びに大学院学位認証式  
2018 年 3 月 9 日（金）午前 10 時（於：楠葉学舎）
30. 2017 年度歯科医師臨床研修修了証授与式  
2018 年 3 月 27 日（火）午後 2 時 30 分（於：天満橋学舎）

31. 大阪歯科大学三つのポリシー改正
32. 口腔リハビリテーション科開設並びに診療系教員職の新設
33. 大学院医療保健学研究科設置認可（平成 29 年 8 月 29 日付）
  - ・口腔科学専攻（修士課程）、修業年限 2 年、授与する学位：修士（口腔科学）
  - ・2018 年 4 月 1 日牧野学舎に開設、入学定員 10 名、収容定員 20 名
34. 歯学部特待生の採用
  - 2 年から 6 年の各学年 3 名、計 15 名に対し授業料 100 万円免除
35. 大学学内奨学生選考
  - 3 名の学生に対して総額 2,150,000 円の奨学金を貸与
36. 2018 年度研修歯科医の募集定員
  - 単独研修方式 20 名、複合研修方式 120 名
37. 学位授与
  - 学位記番号 甲第 813 号～ 832 号 20 名に学位記授与
  - 学位記番号 乙第 1607 号～1610 号 4 名に学位記授与
38. 歯学部教員が優秀発表賞等受賞
  - ・小児歯科学講座 篠永ゆかり講師 / 第 55 回日本小児歯科学会大会優秀発表賞、SHOFU AWARD
  - ・小児歯科学講座 河合咲希助教 / 第 55 回日本小児歯科学会大会優秀発表賞
  - ・薬理学講座 河合まりこ講師 / 第 37 回日本歯科薬物療法学会学術大会優秀発表賞
39. 2017 年度法人理事会・法人評議員会・歯学部主任教授会・歯学部教授会・医療保健学部教授会・歯学研究科会議・医療保健学研究科会議
  - 1) 法人理事会 16 回開催
    - (2017 年 4 月 27 日、5 月 25 日(2 回)、6 月 30 日、7 月 27 日、8 月 24 日、9 月 28 日、10 月 26 日、11 月 30 日、12 月 28 日、2018 年 1 月 25 日、2 月 15 日(2 回)、2 月 22 日、3 月 22 日(2 回))
  - 2) 法人評議員会 3 回開催
    - (2017 年 5 月 25 日、2018 年 2 月 15 日、3 月 22 日)
  - 3) 歯学部主任教授会 28 回開催
    - (2017 年 4 月 12 日、4 月 26 日、5 月 10 日、6 月 14 日、7 月 14 日、7 月 19 日、

8月9日、8月23日、9月6日、9月13日、10月11日、10月19日、11月8日、  
11月24日、11月30日、12月6日、12月13日、2018年1月10日、1月17日、  
1月26日、2月1日、2月7日、2月14日、2月23日、3月2日、3月8日、  
3月14日、3月29日)

4) 歯学部教授会 2回開催

(2017年4月12日、2018年3月29日)

5) 医療保健学部教授会 18回開催

(2017年4月4日、4月19日、5月17日、6月21日、7月19日、8月16日、  
9月20日、10月18日、11月2日、11月15日、12月1日、12月20日、  
2018年1月17日、2月2日、2月21日、3月9日、3月20日、3月29日)

6) 歯学研究科会議 16回開催

(2017年4月26日、5月24日、6月28日、7月26日、8月23日、9月27日、  
10月11日、10月25日、11月22日、12月27日、2018年1月24日、2月14日、  
2月23日、3月2日、3月14日、3月29日)

7) 医療保健学研究科会議 11回開催

(2017年9月20日、10月18日、11月10日、11月15日、12月8日、12月20日、  
2018年1月17日、2月9日、2月21日、3月7日、3月20日)

40. 本学関係 叙勲の受章者

大学14回 和田 勝 広島県 旭日双光章 共12名

41. 教職員数 (2017年5月1日現在: 365名)

1) 大学 354名

教員数 191名

学長1名

歯学部 152名

主任教授24名、専任教授4名、准教授24名、講師50名、助教50名

医療保健学部 15名

教授7名、准教授3名、講師2名、助教3名

附属病院 23名

病院教授1名、准教授4名、講師9名、助教9名

職員数 163名

事務・技術77名、医療85名、労務1名

2) 歯科技工士専門学校 5名

教員3名、事務2名

3) 歯科衛生士専門学校 6名

教員5名、事務1名

## 42. 人事

### 1. 法人関係

- 1) 任期満了に伴う理事退任 田中 昭男 共3名 (2018年3月31日付)
- 2) 評議員就任 辻林 徹
- 3) 任期満了に伴う評議員退任 大浦 清 共38名 (2018年3月31日付)

### 2. 名誉教授称号授与 佐ノ木幸夫 共3名

### 3. 退職

- 1) 定年退職 生理学講座 主任教授 西川 泰央 共10名
- 2) 依願退職 歯科保存学講座 助教 恩田 康平 共19名
- 3) 任期制教員任期満了退職 耳鼻咽喉科 准教授 馬場 一泰 共4名
- 4) 再雇用契約満了退職 中央歯学研究所 研究技術職員 堀 英明 共3名

### 4. 昇任

- 1) 歯学部准教授 口腔治療学講座 講師 至田 宗泰 共2名
- 2) 歯学部講師 欠損歯列補綴咬合学講座 助教 小正 聡
- 3) 職員 設置事務室 課長 辻 知幸 共5名

### 5. 任用

- 1) 定年延長に伴う歯学部主任教授 病理学室 田中 昭男
  - 2) 歯学部主任教授 口腔病理学講座 博士(歯学) 富永 和也 共2名
  - 3) 歯学部専任教授 中央歯学研究所 博士(歯学) 橋本 正則 共2名
  - 4) 医療保健学部教授 口腔保健学科 歯学博士 小正 裕 共7名
  - 5) 医療保健学部准教授 口腔保健学科 博士(歯学) 神 光一郎 共3名
  - 6) 歯学部講師 高齢者歯科学講座 博士(歯学) 川本 章代
  - 7) 医療保健学部講師 口腔保健学科 修士(福祉社会学) 久保 樹里 共2名
  - 8) 歯学部助教 英語教室 修士(文学) 岡 隼人 共8名
  - 9) 医療保健学部助教 口腔保健学科 修士(教育学) 前唄 亜優子 共3名
  - 10) 診療系講師 口腔リハビリテーション科 博士(歯学) 島田 明子
  - 11) 診療系助教 保存修復科 博士(歯学) 横田 啓太 共6名
  - 12) 大学院教員  
大学院教授 高橋 一也 共2名、大学院准教授 西浦 亜紀  
大学院講師 河合 まりこ、大学院助教 嘉藤 弘仁 共2名
  - 13) 大学事務局長 児玉 孝
  - 14) 看護師 附属病院 島本 真有 共4名
  - 15) 任期付職員の専任職員登用 設置事務室 課長補佐 辻 知幸 共11名
  - 16) 任期付職員新規採用 総務課 事務職員 清原 春香 共15名
6. 歯学部任期制教員任期更新 歯科保存学講座 助教 保尾 謙三 共6名
  7. リサーチ・アシスタント採用 口腔インプラント学 1年 黄 安祺 共3名
  8. 診療系助教異動 高齢者歯科 助教 井上 太郎

9. 所属異動 歯科医学教育開発室 専任教授 王 宝禮 共5名
10. 兼務 病院事務部 事務部長 田中 武昌 共4名
11. 兼務解除 障がい者歯科 科長 中嶋 正博
12. 在籍出向  
総合診療科 講師 谷岡 款相 (出向先: 独立行政法人医薬品医療機器総合機構)
13. 定年延長 施設課 課長 田中 修 共2名
14. 定年退職後再雇用 中央歯学研究所事務室 事務職員 村上 よし子 共3名
15. 定年退職後再々雇用 中央歯学研究所 技術職員 堀 英明 共2名
16. 委嘱
- 1) 大学役職者
- |          |       |
|----------|-------|
| 歯学部長     | 田中 昭男 |
| 医療保健学部長  | 小正 裕  |
| 図書館長     | 大浦 清  |
| 附属病院副病院長 | 田中 武昌 |
| 口腔保健学科長  | 和唐 雅博 |
| 口腔工学科長   | 柿本 和俊 |
- 2) 医療保健学部キャリアセンター長 中塚 美智子
- 3) 歯学部特任教授 歯科医学教育開発室 松本 秀範 共2名
- 4) 客員教授 厚生労働省近畿厚生局 局長 丸山 浩 共10名
- 5) 医療保健学部客員教授 歯科東洋医学室 特任教授 方 一如
- 6) 客員准教授 大阪歯科大学 元准教授 好川 正孝
- 7) 客員講師 大阪歯科大学 元講師 小川 文也
- 8) Visiting Professor  
韓国慶熙大学校歯科大学 主任教授 Young-Guk Park 共9名
- 9) 2017年度歯学部講師 (非常勤) 解剖学講座 清水 孝治 共382名  
2017年度医療保健学部講師 (非常勤) 荒井 昌海 共35名  
(2017年4月1日付)
- 10) 臨床教授 臨床研修教育科 前田 照太 共3名
- 11) 医員 18名
- 12) 病院医員 65名
- 13) ティーチング・アシスタント 病理学 2年 竹内 友規 共18名
- 14) ポストドクトラルフェロー 欠損歯列補綴咬合学 蘇 英敏
- 15) 学生相談室カウンセラー 臨床心理士 辻野 達也 共3名
- 16) 医務室嘱託医師 大阪大学医学部 講師 (医師) 木田 博 共2名
- 17) 予算委員会委員長 下村 錢三郎
- 18) 学年指導教授  
1年・2年 藤原 眞一、王 宝禮 3年・4年 三宅 達郎、今井 弘一



- 5年・6年 前田 博史、梅田 誠  
19) 2017年度学友会会長 主任教授 松本 尚之

#### 43. 学外活動

- 1) 教授海外視察 歯周病学講座 主任教授 梅田 誠
- 2) 教員海外研修 化学教室 講師 牧田 佳真
- 3) 教員海外出張 薬理学講座 講師 河井 まりこ 共32件
- 4) 共同研究員受入 山西医科大学口腔医学院 研究員 王丹 共7名
- 5) 国際交流
  - (1) 海外協定校との交流 (本文参照)
  - (2) コロンビア大学から感謝状授与 (6月26日)

#### 44. 補助金・助成金

- 1) 2017年度大阪歯科大学学術研究奨励助成金交付 (12件) 2,000,000円
- 2) 2017年度大阪歯科大学学術研究奨励資金 2,200,000円
  - ・研究課題「安全性の高いiPS細胞由来間葉系幹細胞調達方法の探索」  
(内700,000円は、日本私立学校振興・共済事業団より平成29年度学術研究振興資金として交付)
- 3) 平成29年度科学研究費補助金交付 (文部科学省) (本文参照)
- 4) 平成29年度私立大学等経常費補助金交付額 375,585,000円  
(内18,205,000円は私立大学等改革総合支援事業)
- 5) 平成29年度臨床研修費等補助金交付額 72,477,000円
- 6) 国際交流助成  
薬理学講座 講師 河井まりこ 共10件に対し1,937,900円の助成
- 7) 寄贈  
中村 宏氏 (本学附属病院患者様) から、病院経費への充当を目的として500,000円 共6件

#### 45. 諸規程

- 1) 大阪歯科大学の諸規則の制定等に関する規則
- 2) 大阪歯科大学学則 (一部改正)
- 3) 学校法人大阪歯科大学管理運営規則 (一部改正)
- 4) 大阪歯科大学教員任用規程 (一部改正)
- 5) 学校法人大阪歯科大学教員の定員等に関する規程 (一部改正)
- 6) 学校法人大阪歯科大学教員の定員等に関する規程改正に伴う任期付教員の再任用に関する申し合わせ (一部改正)
- 7) 学校法人大阪歯科大学教員の任期に関する規程 (一部改正)

- 8) 大阪歯科大学教員選考規程（一部改正）
- 9) 教員候補者資格審査に関する申し合わせ（一部改正）
- 10) 大阪歯科大学診療系教員選考規程（施行）
- 11) 診療系教員に関する申し合わせ（施行）
- 12) 大阪歯科大学歯学部教授会・主任教授会規程（一部改正）
- 13) 大阪歯科大学学費等納付金規程（一部改正）
- 14) 楠葉学舎施設使用規程（一部改正）
- 15) 大阪歯科大学医療保健学部教授会規程（施行）
- 16) 大阪歯科大学医療保健学部入試委員会規程（施行）
- 17) 大阪歯科大学医療保健学部教務部委員会規程（施行）
- 18) 大阪歯科大学医療保健学部学生部委員会規程（施行）
- 19) 大阪歯科大学医療保健学部カリキュラム委員会規程（施行）
- 20) 大阪歯科大学医療保健学部キャリア支援委員会規程（施行）
- 21) 大阪歯科大学医療保健学部生涯学習委員会規程（施行）
- 22) 大阪歯科大学医療保健学部履修規程（施行）
- 23) 大阪歯科大学医療保健学部社会福祉士コースに関する細則（施行）
- 24) 大阪歯科大学の諸規則の制定等に関する規則（施行）
- 25) 学校法人大阪歯科大学嘱託規程（一部改正）
- 26) 学校法人大阪歯科大学給与規程（一部改正）
- 27) 学校法人大阪歯科大学教育職嘱託給与規程（施行）
- 28) 学校法人大阪歯科大学事務組織及び事務分掌規程（一部改正）
- 29) 学校法人大阪歯科大学事務組織表（一部改正）
- 30) 学校法人大阪歯科大学経理規程（一部改正）
- 31) 学校法人大阪歯科大学予算執行規程（一部改正）
- 32) 大阪歯科大学奨学金貸与規程（一部改正）
- 33) 助言教員・特別アドバイザーに関する申し合わせ（一部改正）
- 34) 研修歯科衛生士（非常勤）規程（施行）
- 35) 大阪歯科大学附属病院中央滅菌材料室運営委員会規程（一部改正）
- 36) 材料薬品等管理運営委員会規程（一部改正）
- 37) 院内感染防止委員会規程（一部改正）
- 38) 大阪歯科大学歯科技工士専門学校学則（一部改正）
- 39) 大阪歯科大学歯科衛生士専門学校学則（一部改正）

（以上、2017年4月1日付）

- 40) 大阪歯科大学ホームページの運用・管理規則（一部改正）

（2017年4月27日付）

- 41) 教員の兼務、出張及び研修に関する内規（一部改正）

（2017年5月25日付，2018年4月1日より適用）

- 42) 大阪歯科大学附属病院規程（一部改正）  
43) 大阪歯科大学附属病院運営委員会規程（一部改正）  
(以上 2017年5月25日付)
- 44) 学校法人大阪歯科大学個人情報保護委員会規程（施行）  
45) 学校法人大阪歯科大学個人情報取扱規程（施行）  
46) 学校法人大阪歯科大学個人データの取扱いに関する細則（施行）  
(以上 2017年5月30日付)
- 47) 学校法人大阪歯科大学旅費規程（一部改正）  
48) 公印規程（一部改正）  
(以上 2017年6月30日付)
- 49) 大阪歯科大学学費等納付金規程（一部改正）  
50) 大阪歯科大学附属病院リスクマネージャ部会規程（施行）  
(以上 2017年7月27日付)
- 51) 大阪歯科大学附属病院医療安全管理委員会規程（一部改正）  
(2017年8月24日付)
- 52) 学校法人大阪歯科大学寄附行為（一部改正）  
(平成29年8月29日付、平成30年3月28日付)
- 53) 病棟管理運営委員会規程（一部改正）  
54) 医療事故調査に関する規程（施行）  
55) 院内診療情報管理運営委員会規程（一部改正）  
(以上 2017年9月28日付)
- 56) 学校法人大阪歯科大学給与規程（一部改正）  
(2017年10月26日付、2018年4月1日より適用)
- 57) 昇給・降給に関する取扱細則（一部改正）  
58) 昇格・降格に関する取扱細則（一部改正）  
(以上 2017年10月26日付)
- 59) 任期制教員の再任用基準に関する申し合わせ（一部改正）  
(2017年11月30日付)
- 60) 学校法人大阪歯科大学教員の定員等に関する規程（一部改正）  
(2017年12月28日付、2018年1月25日付)
- 61) 大阪歯科大学診療系教員選考規程（一部改正）  
62) 診療系教員に関する申し合わせ（一部改正）  
63) 学校法人大阪歯科大学特任教授規程（一部改正）  
64) 大阪歯科大学客員教員規程（一部改正）  
(以上 2018年1月25日付)
- 65) 大阪歯科大学歯学部学業成績評価に関する規程（一部改正）  
66) 大阪歯科大学歯学部教授候補者選考委員会規程（一部改正）

- 67) 大阪歯科大学臨床准教授等の称号の付与に関する規則（一部改正）  
(以上 2018年2月22日付)
- 68) 学校法人大阪歯科大学講師（非常勤）就業規則（施行）
- 69) 学生の通学が困難となる事由が発生した場合の授業等の取扱い規程（一部改正）
- 70) 臨床実習連絡委員会規程（一部改正）
- 71) 学校法人大阪歯科大学臨床研究利益相反管理規程（一部改正）
- 72) 大阪歯科大学附属病院病院情報システム管理運用規程（一部改正）
- 73) 大阪歯科大学転学科の取扱いに関する規程（施行）
- 74) 大阪歯科大学大学院医療保健学研究科大学院委員会規程（施行）  
(以上 2018年3月22日付)
- ※ そのほか、医療保健学部設置に伴い委員会規程等を改正した（2017年4月1日付）。